

令和3年度第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の主な意見

- ◆日 時 令和3年8月24日（火）10：30～12：00
- ◆場 所 安芸太田町役場東館2階大集会室
- ◆出席者 別紙名簿のとおり。

（1）安芸太田町人口ビジョンについて

○コロナにより、町内への転入に影響はあったか。

（町）現段階では詳しい分析はできていないが、空き家バンクの利用希望者数は増加したが、マッチング件数は微増にとどまっている。

○町内の年度ごとの出生数が減少しており、町全体でも1学年1学級で可能な人数で推移している、学校適正配置についても人口推計の中で政策として検討していくべきではないか。

（町）出生数の減少は大きな課題である、教育には児童数も重要だが、地域とのつながり大事であると感じている。現在計画に掲げている3小学校、2中学校の計画を進め、維持していくことに注力していきたい。

（2）安芸太田町まち・ひと・しごと創生総合戦略（安芸太田町長期総合計画）の施策評価について

【01 安芸太田町に住みたくなる人を増やします】

○この施策の中で「特定地域づくり事業協同組合」の導入というのが重要な取り組みであると考ええる。資料3の要約版でも今後の方向性に入れるべきである。

（町）先進的地域を参考にし、取り組みを進めていきたい。

○社会増となったことは評価できること。引き続き取り組みを進めていただきたい。

○転入後のフォローアップも自治会との連携を密にして充実させてほしい。そのことで住みやすい環境が整っていくと考えられる。中には、地域との折り合いが合わずに転出される方もいる。

（町）UIターンの会などの見直しを検討していく。

【05 生涯にわたり誰もがいきいきと暮らせるまちをめざします】

○パソコン教室とスマートフォン教室をされているが、スマホ教室に一本化された方が良いのではないか。マイナンバーの取得やワクチン接種の予約等でもスマートフォンで利用できるサービスが増えている。

（町）担当部署と協議して進めていきたい。

【08 地域で安心して暮らせる地域医療サービスを提供します】

○北広島町のように在宅医療を充実させてほしい。住民密着の医療が進むことで地域の安心につながると考える。

(町) 65歳以上の高齢者が多い本町において安芸太田病院を中心に医療体制の整備をすすめていく。また、元気に地域で暮らせるように生活をサポートするため、いきいき体操やウォーキングなどを後押していく。

【10 高齢者も地域で安心して暮らせる環境を整えます】

○要介護の認定率については様々な考え方ができるが、町の介護保険計画に数値の根拠はあるでしょうか。

(町) 高齢化が進む中で要介護になる方は増えていく傾向にあるが、予防運動に積極的にとりくむことで要介護認定率を25%までに抑制する目標を設定している。

【23 情報化をすすめます】

○H26年度くらいから光ファイバーを全町域で整備されているが、現在、空き家に入居し、申込を行っても半年たっても加入できない状況にある。定住施策を進めるうえで利便性を確保することが重要なのではないか。

(町) 本町としても事業者に直接お願いしているが、現状難しい状況にある。改善に向け努力していきたい。

【25 農業を振興します】

○大手コンビニ業者の総菜に安芸太田の小松菜が採用されていることは、良い宣伝になっている。今後も継続し伸ばしていけると良いと思う。小松菜の競争が激しくなっている。小松菜だけに頼るのは厳しいのではないかと思う。

(町) 小松菜以外の露地野菜との組合せで農家の所得を確保していく必要がある。

【32 住民がより関わる地域づくりをすすめます】

○地位との懇談会も必要であると思うが、商工会の青年部もぜひ町長と話がしたいという要望がある。

(町) 地域（自治会等）という枠組みだけでなく、女性会、シニア会などの分野別のコミュニティでも進めていきたいと考えている。

○「ハシモトーク」参加者が増えていることは非常に良いことだと思われる。地域の力は低下しているのが現状で、役員のなり手がいないというのがほとんどの自治会が抱える課題と思われる。地域力向上のためのフォローが必要である。

(町) コミュニティの枠組みの考え方、自治会の担う機能、役割について、自治会で活躍されている方々と意見交換しながら、行政の役割についても検討していきたい。

○地域運営組織設立の必要性をあまり感じていないとの意見もあるとの記述があったが、これは本当に必要にないのか。役員のなり手がなくなっているのかどちらでしょうか。

(町) 地域運営組織は今ある自治会をもう一回り大きい枠組みの取組みも推進し、自治会間の支え合いの仕組みが必要な段階ではないかと考えているが、まだ、その必要はないのではないかという地域の声や、既存の自治会に愛着を持っておられる方も多い。

○各自治会により、取組の内容や考え方がまちまちであり、地域格差がある状況、

転入された方が楽しく暮らせることが大事だと考える。行政のフォローをお願いしたい。

(3) 地方創生推進交付金事業の実施状況及び効果検証について

◆主な意見

○加計高校の取り組みについて支援をいただき魅力的な取り組みができている。公営塾などの効果もあり昨年度の卒業生 31 名のうち 9 名が国公立大学に入学している。これはほかに例を見ない。また、全国公募も進んでおり現在 16 名（令和 4 年度入学希望）が見学に来ている。引き続きご支援をお願いしたい。